



ゆんたく

2023年9月
都島
Vol.37

Contents

理事長 巻頭MESSAGE

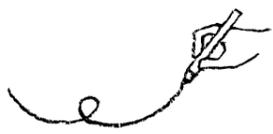
都島友の会、ここは夢あるワンダーランド！

～ちょっと自慢できるコト。自慢したいコト。～

本部からの報告

社会福祉法人 都島友の会

業務の合間に！。 ふと心和む、 あれこれのコト。



社会福祉法人都島友の会
理事長 渡久地 歌子



2019年末に中国で初の症例が確認された新型コロナウイルス感染症(COVID-19)。ウイルスは瞬く間に地球上に広がっていき、パンデミックを引き起こしました。3年以上の長きに渡る世界的流行は日本の社会はもとより、当法人においても、子どもたちや高齢者、職員、保護者や地域の方々にも多大な影響を与え、その間、私たちは思いもよらぬ辛い経験をし、しかしこの試験をよくぞここまで耐え抜いてきたと思います。

もちろんいまだ感染症が無くなった訳ではありません。まだまだ衛生安全管理等は継続し、しっかりと法人が関与する子どもたちや高齢者の方々を支え、守っていかねばなりません。ただこの間、日々の業務の中、ふと心が緩む、思わず気持ちが和んで笑みがこぼれるようなこともありました。ここ最近、私の中で印象に残った、心に残ったことをほんの少しですが紹介したいと思います。

私が理事長に就任してから、毎週月曜日には前週の出来事(園児や保護者のこと、行事、会議、研修、職員、建物・設備安全管理、感染症、その他病気、入居者、利用者稼働率etc)について各園各施設からメールが届きます。

この8月の報告には、スイカ割り、地藏盆、誕生会、園庭での果物の収穫といった子どもたちの夏の様子、公開保育での職員の様々な気づき、あるいは夏後半の保育上の確認事項、一時保育や病後児保育の利用状況、キャリアアップ研修、ひだまりカフェの盛況ぶり等々、次々と数多くの報告がメールに入ってきました。

スイカ、ブドウ等、道行く人たちが足を止めて「これはいいナア!」と笑顔で通って行かれます。

高齢者施設ではボランティアグループによるフラダンスやマジックショー、ハーモニカ、ウクレレ合奏、紅白に分かれてのカラオケ大会があったと。入居者利用者の皆さんの歓声、美声、楽しい笑顔が浮かんでまいります。

学童保育は、夏休み中、1年から6年生までの共同生活、その体験からの学びは大きい。その中で今年計画したのは「フレールで遊ぼう!」フレールってどこ? 万博公園のことらしいです。電車に乗っての往復、会場内でのマナーやルール、熱中症対策の心得も班ごとに確認し合い出発。触れ合いが楽しい動物園・水族館でキツネザルに触れ、孔雀が羽を広げた瞬間に感激し、岡本太郎の太陽の塔の大きさ、迫力に驚いたこと…。帰りには「バイバイ、岡本太郎」と手を振る姿に職員たちは思わず「ニコリ。」してやったり!」の思いだったかもしれません。

コロナ禍で開催出来なかった夏まつり、地域の子どもたちや高齢者、ご家族も多く参加されました。食べ物、飲み物、ゲーム、全てチケット100円でさまざま完売でした。職員も大変でしたが、久しぶりの大勢のお客様に楽しそうでした。

保護者参加、参観行事が復活、乳児保育の参観では、両親共の参加数が多く、職員の様々な工夫で、家とは違った我が子の遊ぶ姿を見て、保護

なかでも先日、友渕児童センターに友渕中学校の演劇部の皆さんが来園し、「オズの魔法使い」を発表してくれたとの報告がありました。その際、メンバーの中に友渕の卒園生がおり、在園していた頃、年長児の発表会で同じ「オズの魔法使い」をしたそうです。当時は先生たちが大道具、照明、音響、衣装など何から何まで準備し、台本はひらがなで一言一言伝達してもらって覚えたとか。それが今では、舞台づくりから配役、演出にいたるまで全てを自分たちで準備し作り上げ、そのときばきと動く姿に、往時を知る職員たちは、立派に成長したその姿に、思わず胸を熱くしたとメールにありました。まさに保育士冥利に尽きるエピソード、その報告に私も思わずジンとしまいました。

最近の私たちの悩みの一つは運動会の練習場所の確保です。子どもたちの声、太鼓や楽器の音、音の感じ方は人それぞれ違います。ある方にとっては子どもたちの声が微笑ましいものだとしても、別の人にとっては耐えがたい苦痛と感じているかもしれません。とはいえ、子どもたちの声や音をゼロにするのはとても難しいことです。近年私たちは運動会の練習場をはじめ、近隣の方々の理解を得ながら円滑な園の運営をするために努力を払ってきました。建物の遮音対策などハード面の配慮はもちろんですが、何よりも大切なのは地域の方々との交流。例えば園の行事にボランティアとして参加していただいたり、園児が地域の行事に参加したり。地域の方がより園に対して親近感を抱いてもらえるように、

者の方は安心と期待に胸ふくらませた1日を過ごされたようです。

各施設、ようやく少しずつ日常を取り戻しつつある報告を受ける昨今、長い間、緊張を強いられた私の心にもほんの少しあたたかなものが流れてまいりました。再開した日常の暮らし、その詳細は各園各施設、後日、職員の手づくりの「ミニゆんたく」を特別配布します。楽しみにお待ちください。

月日が経つのも早いもので今年は今もう創立92年目。以前『90周年記念誌』をお渡しした卒園生から突然、「比嘉正子を朝ドラにする会」を勝手に立ち上げたとの連絡が。その卒園生は「私の会社を日本で一番にしたいと思っています」とあつけらかと語る若き女性実業家。彼女の話を聞いていると、比嘉正子の生涯を朝ドラにすること、今にも易々と実現しそうな勢いで、思わずこちらも引き込まれてしまいました。

一方、昨年来から元福祉新聞に関係していた女性ライターが「日本の消費者運動の生みの親」比嘉正子を本にまとめたいと熱心に取材、ようやく原稿が出来上がってきた時でした。(11月末には発行予定です。皆様、是非お買い求めを!)
これはすごい!女性同士のステキなマッチングに私の胸は高鳴り、「よし決めた!当法人95周年に向かつて、これを実現しよう!」エネルギー溢れる若き二人に触発され、80歳を目の前にした私は、嬉しい、楽しい、わくわく感で、期待に今、心躍らせています。この紹介は次回。皆様、お楽しみに! !

そして『みんなで子育てを行なっている』との意識を共有できるようにしていくことが何よりも肝要なことなのでは、と思えます。おかげさまで私たち法人は都島の地に90有余年。3世代4世代に渡りつながりを持つ住民の方々も多数おられます。これまで練習場に使用していただけただけのグラウンドが使用できなくなった今年、地域の有志の方のお力でなんとか確保できることになったとの有難いメールも受け取りました。あるいは地域の高齢者の方々が中学校のグラウンドの隅でされているジャガイモ作り。そこに園児たちがジャガイモを掘る貴重な体験をさせていただいたとの嬉しい報告も。本当に地域の皆様には感謝感激です。

今年も各園各施設で地域の方のご指導のもとで、夏野菜、果物を収穫することができました。きゅうり、ナス、トマト、じゃがいも、イチゴ、イチジク、



都島友の会、ここは夢ある楽しい世界!



芝生の遊具が
ウォーターライダーに?!



芝生の遊具が夏になると
ウォーターライダーとして
遊んでいて子どもたちも大興奮!



ピクニックごっこ!!
給食をお弁当箱に入れて
食べるとおいしさも倍増♡

ランチボックス
DAY



子どもたちと共に
職員も Enjoy♪

のぞいてみよう 行ってみよう



風が気持ちよく、なわとびを
跳んだり、おにごっこをしたり
と元気あふれる子どもたち!!



ワニ泳ぎでスイスイ泳いだり
水の掛け合い、また年長児は
着衣水泳を行って安全につい
ても学んでいます

ひろーい園庭・芝生は
楽しいことがいっぱい!

毎年恒例のどろんこやボディ
ペインティングなど感触あそびを
したり、夏まつりやハロウィン
ではテーマに合わせて全員で
仮装をして楽しんでいます!



幼保連携型認定こども園 都島児童センター
MIYAKOJIMA
JIDOU CENTER



屋上には
大きな船の形のプール!

旬の食材について
学ぼう!

さんま BBQ やたこ焼きパーティー
など楽しみながら様々な旬の食材に
触れて五感で楽しんでいます!



環境編

4F 屋上

南向きの屋上は保育室からすぐ。晴れた日は屋上に行って身体を動かして遊ぶことができます！屋上で育てている野菜の様子を見るのも楽しい！

子どもたちが大好きな絵本や紙芝居がたくさん！自分たちで好きな絵本を選んで読んでいます

もこもこルーム

色合いが鮮やかで、写真映え～！
やわらかいクッション性のある素材で出来ていて、ハイハイをしても膝が痛くなりません。
広すぎず狭すぎない大きさと程よい可動域で動くことができるため、職員も目を配りやすいです

ランチルームには給食室が隣接されています。子どもたちは給食室の先生に「今日の給食はなんですか？」と聞いたりしています

4階屋上の大型遊具の周りにはリレーなどができるようにトラックがあります

3F 屋上

おはなしルーム

職員が選んだ、ひがみやの
こんなところが好き！

園のいいとこに 自慢したいとこ

幼保連携型認定こども園

ひがみや児童センター

HIGAMIYA JIDOU CENTER

ランチルーム

乳児保育室の前室

保護者の方がロッカー内の荷物を準備したり整理しやすい空間となっています

杜のホール

1F ホールにある杜のホール。大きな舞台の緞帳は、法人の職員によるデザイン。園歌を作詞された野口雨情さんの歌に関連するイラストになっています。緞帳製作の歴史が古い川島織物セルコンさんによるものです

1F相談室とつながるホール舞台裏！発表会では大活躍！秘密の裏道を通して、舞台演出に一役買っています！職員しか知らない園舎の裏情報です

それいゆ

ひがみや児童センター

ひまわりの郷

東都島小学校第二グラウンドをお借りして、第二乳児保育センター創立50周年イベント「しゃぼん玉ショー」に参加させていただきました。地域のあたたかいご協力の賜物です。大きなしゃぼん玉に子どもたちも大喜び！

つながる園庭

クラブ室

園での滞在時間中、英語やピアノ、習字等のクラブ活動が受けられます！クラスのお友だちと一緒に受けられるので、子どもたちのやる気もUP！！

舞台裏へ繋がる
秘密の抜け道

事務所横の廊下に行く
と・・・

相談室があり、部屋
中には・・・

謎の扉が・・・

中を進むとホールが！

舞台への抜け道があります！

それいゆ、ひがみや、ひまわりの郷とつながることで全長なんと86m！子どもたちのマラソンをするスペースに大変身！

それいゆの

パワースポット!?

いえいえ、「スヌーズレン」という子どもたちの興味や意欲を刺激し、心をリラックスできるマジカルスペースです。



視覚・触覚を通して楽しめる

紙ふらしやえのぐあそび



- ・指先を使うことで、手指の感覚、発達を促します
- ・絵の具に直接触れて、感触を楽しめます
- ・絵の具の色合いから、色彩感覚を養えます



「スヌーズレン」という言葉は、オランダ語の「スヌッフレン（くんくん匂いを嗅ぐ、という意味。環境内のいろいろな刺激の探索）」と「ドゥーズレン（うとうとする、という意味。くつろぎ）」という二つの言葉から創られた造語です。子どもたちが光や音、触れる素材、香りなど、五感を通じて感じ取りやすく、楽しめるようなスペースを作っています。

”世界を開く扉“ 五感を養う遊びは



送迎車



都島区・北区・旭区・城東区・鶴見区にバスや乗用車を使って送迎しています。

言葉など発達がゆっくりの子どもたちにとっては感覚を養う環境や遊びはとても大切です。私たちは子どもたちのために、まず「過ごしやすい環境」を整え、それぞれの子どもに合った遊具を準備、ひとつずつの遊びを楽しむことで子どもたちの成長をうながします。

天井からつるした
体幹を養う遊具・スイング



体幹を鍛えることは、日常生活の歩行や姿勢の改善、疲れにくい体づくりができるなど大いにメリットがあります。



見て分かる環境

(視覚支援)



発達障がいの子どもたちは、目で見て理解することが得意です。ただ曖昧なことや見えないことへの理解が不得手なため、口頭での説明よりも、絵や文字などを使った説明や今から何をやるのかが見て分かる環境の方が理解しやすいという特性があります。



放課後デイの中で活用している
支援グッズの一部



イヤーマフ

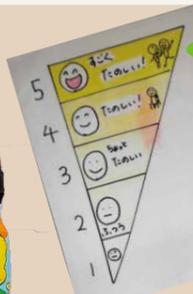
聴覚過敏は五感などの感覚が敏感である感覚過敏の一つ。聴覚に敏感なお子さんへ苦手な音を聞こえにくく遮断してくれます。

働きながら
スキルアップ!!

小学校から利用できる
放課後等デイサービス
もあります。



気持ちの5段階表



声の大きさ表



自分の声が、場所や人数に応じて適切かを確認したり、人の関わり方や感情のコントロールを学べる表です。

高倉生活クラブ

施設近辺に公園があるのを活かしたあそび！

高倉生活クラブと言えば外あそび！
ほぼ毎日公園に行き、様々なあそびを行うので外で遊ぶおもちゃや道具を用意しています。子どもたちの要望を聞き外あそびがより充実するよう心がけています。

高倉生活クラブ 久住



虫捕り



サッカー

←これも上手な子はもちろん、仲のいい子も積極的に参加し、いつも白熱した試合を展開しています。また、試合には参加せず職員や友だち同士でパス回しする子も。



←男の子はもちろん、意外にも女の子も虫に触れる子が多いので、よく公園に虫捕りに行きます。子どもたちの中には虫捕りが得意な子や虫の知識が豊富な子がいるので周りの子や職員も教えてもらうこともあります。



僕は野球とダーツが得意です！バットの振り方やボールの投げ方のコツ等を、久住先生はサッカーが得意なのでボールの蹴り方やドリブル、パスのコツ等を教えています。
高倉生活クラブ 佐藤

→上手な子も、まだ自信がない子もトスパッティングをして打てるよう練習を重ねています。徐々に打てる子が増えてきていますよ！



野球

職員の個性や施設環境を存分に活かして子どもたちが毎日思い切りENJOYできる環境を整えています！

都島生活クラブ 1組 2組

ひろい室内を活かして
たくさんの活動がえられる！

都島生活クラブは人数も多いですが仲のいい友だち同士が確立されたり縦横のつながりやグループ活動も盛んです。そんな子どもたちと一緒にあそびながら子ども本来の姿を大切にしています。
都島生活クラブ 2組担任 植木



プレイ
ルーム

都島児童館の



↑
とこ



ここではボールあそびやレゴブロック、広い空間を使って雨の日でも身体を動かしたあそびが楽しめます。学年関係なく1番異年齢交流が盛んな部屋です！←

中野生活クラブ

職員の得意を活かしたあそび！

中野生活クラブでも職員の得意なあそびを取り入れてみました！
子どもたちにも上手く内容が伝わりあそびが活発に！
中野生活クラブ担任 米谷



DIY

↑木材を買ってきて子どもたちとDIY！木材カット、やすり掛け、組み立てなど職員と一緒に取り組みます。あっという間に祭りの屋台の完成です。

中国ゴマ

→中国ゴマを子どもたちと一緒に練習しながら遊んでいます。子どもたちの上達は早く、すでに大人顔負けの技を披露しています。



基地スペース

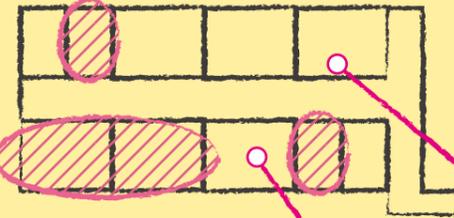
基地スペース

女の子は学年ごとに仲のいいグループで基地活動。でももうちょっと片付け頑張らなね〜と声掛けしています(笑)。↓



基地とは？

子どもたちがランドセルなど荷物を置くスペース。自分たちで作りに上げていくあそび場のこと



室内環境を整えるのが得意なので各部屋ごと様々なブースを作り、子どもたちが活動の選択肢を増やすことができますようにしています。

都島生活クラブ 1組 上加世田



宿題

工作

いろんな材料が揃っていて、好きな時に自由工作ができます！
1・2年生のうちから裁縫にも取り組んで可愛い小道具の工作も！↓



↑静かな環境で集中して宿題に取り組んだり、友だちと話しながら勉強。教員免許や子どもに関わる資格を持つ職員も多いので丁寧に見守っています。

都島友瀧乳児保育センター

幼保連携型認定こども園 友瀧児童センター分園

都島友瀧乳児保育センター内に「病後児ルームひまわり」があります。大阪市の病児・病後児保育事業として平成17年4月に開設。「病後児ルームひまわり」は、今年18年目を迎えました。

体調に不安のあるお子様は、普段通われている園や小学校に登園(校)できない場合があります。急性期を過ぎ、回復期において集団生活が困難、仕事等の事情により家庭での静養が難しい場合に、専任の看護師・保育士がお預かりします。

「病後児保育」は、保護者の方が家庭と仕事を両立する上での「セーフティネット」としての重要な役割も果たしており、**都島区で唯一の「病後児保育施設」**として、職員一同使命感に燃えています!!



友瀧中学校の前に「病後児ルーム」のお部屋があります

病後児ルーム「ひまわり」はこんなところ!!

家庭的で温かい

2児の母…と、いつでももう中高生

医療現場での経験有

体調に合わせてゆっくり過ごせる

保育園と同じ、温かい給食が食べられる(アレルギー食も対応)

新しい出会い

病後児ルーム看護師

利用者のこえ

旭区 櫻本 愛さん



妹が保育園に入園した途端、兄妹間で風邪の移しあいが始まり、利用する頻度が増えました。少し体を動かす遊具もあり、回復傾向の幼児には嬉しいようです。少人数なので看護師・保育士さんの目が届きやすいのも安心です。そして給食が出る…。連日看護に疲れた親にはかなりありがたいです。お迎えの際は愛情たっぷりのお帳面を頂けるので1日の様子が一目でイメージできます。たまに『今日ひまわり行くわ』と仮病(?)を使うこともあり親としては見極めが必要です(笑)



都島区 南 安奈さん

医師から登園意見書が出ても、もう少しゆったり過ごさせてから園での集団生活に戻したい、でも仕事をこれ以上休むのが難しい、という時に利用していました。専門の先生が少人数を手厚く保育してくださるので安心でき、子どももすぐに慣れ親しんで笑顔で過ごせていました。

利用対象児童は?

病氣回復期にあり、集団生活が困難な、大阪市の保育施設や小学校に通園、通学しているお子様ならどなたでもご利用いただけます。

※骨折、けがなどの外傷性疾患の場合も受け入れ可能です

※利用の際には「**医師連絡票**」が必要です

小学6年生まで利用可能です

いざという時の「おまもり」に登録しておくで安心

都島友瀧乳児保育センター
くわしくはHPをご覧ください



困ったとき、寂しいとき、くつろぎたいとき。どんな時にも、どなたでも…。

地域の中で92年。いつもこうした想い、こうした活動で地域の皆さんとつながっています。

8/22 「みんなでカレー食堂」を開催!



地域の居場所づくりとして長年やってきた“ひだまり食堂”。今年の4月からは週1~2回、地域の皆さんが気軽にお茶を楽しんでいただける『カフェひだまり』をやっています。

夏休みの間、このスペースを使って何かできるコトは?と思いついたのが「子どもたちに向けてカレー食堂」。2Fの『絵の本ひろば』でお手伝いいただいている「ゆるり」の皆さん、法人の給食でお世話になっているメディッシュ・フード・サービスのご協力もあり、1日限りのカレー食堂を開催。今どきの大学生もボランティアとして快く参加、みんなの熱いハートが集まって素晴らしい一日でした!



絵の本ひろば 関連イベント



比嘉正子地域貢献事業研修センター

地域の子どもたちはもちろん、親子連れ、学童の子どもたちも大喜びで、用意したカレーはすべて完食。

TSURUMIこどもホスピスで絵の本ひろば

Yoga & 絵の本ひろば

開催日: 2023年7月27日(木)

場所: ひまわりネット 4階

対象: 不登校などで育ちの悩みを抱えるご家庭

人数: 大人1名、こども2名 計3名

予約: リラクスタイム、情報交換会



break time



令和5年度入職
幼児クラスを担当

幼児クラス ver.



保育教諭の
1日に密着!!

どんな仕事を しているの?

友渚児童センターの魅力とは…ズバリ!笑顔の素敵な職員がいること。それを伝えるため、今回は、保育教諭ってどんな仕事?をテーマに、フレッシュな仲間インタビューしました!

仕事内容知ってもらおう中で、「こんな風に過ごしているんだ」という新たな発見と「保育の楽しさ・魅力」をお伝えできたいと思います。



乳児クラス ver.

令和5年度入職
乳児クラスを担当



仕事内容は
コチラ

今回はフレッシュな
仲間を紹介します



仕事内容は
コチラ

目標時間を設定し、自分たちで考えながら朝の準備をします

POINT

1日の流れを伝えることで、見通しを持って、また意欲的に行動できます

9:00『自由あそび』
登園してきた子どもたちと室内で過ごします。

9:30『朝の会・おやつ』
あさのうたを歌い、元気に1日がスタート!

10:00『活動』
日によって活動内容は変わります。

11:00『給食』
みんなの大好きな時間、給食! みんなで食べるとおいしいね。

13:00『午睡』
ふかふかの布団でお昼寝をします。

15:00『起床・おやつ』
起きて、おやつを食べます。

16:00『自由あそび』
帰りの準備をして、自由あそびを楽しみながらお迎えを待ちます。

17:00『終わりの会』
季節のうたやお帰りのうたを歌います。

視診・触診をし、子どもたちの体調管理に留意しています

活動の合間に必ず人数確認をしています



POINT

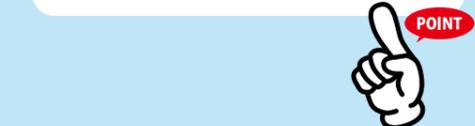
様々な食材を知ることからスタート!自分で食べたいという気持ちを大切にしながら食事のマナーも伝えていきます



POINT

一人一人の連絡帳“おいたちの記”に今日の出来事を記入します。また、担任間の情報共有や、制作の準備などもしています

随時、お迎えに来た保護者の方に1日の子どもの様子を伝えます。日頃のコミュニケーションが信頼関係に繋がります



POINT



9:00『朝の準備』
登園してきた子どもたちから、朝の準備を行います。



9:40『朝の会』
あさのうた、季節のうたを歌った後は1日の流れを子どもたちと確認します。



10:00『活動』
日によって活動内容は変わります。



11:30『給食』
みんなの大好きな時間、給食! みんなで食べるとおいしいね。



13:30『午睡』
ベットでお昼寝をします。



15:00『起床・おやつ』
起きて、おやつを食べます。



16:00『自由あそび』
帰りの準備をして、自由あそびを楽しみながらお迎えを待ちます。



17:00『終わりの会』
季節のうたやお帰りのうたを歌います。

こんな質問してみました

なぜ、保育教諭になろうと思ったのですか?

年の離れた弟やその友だちのお世話をしたり一緒に遊んだりする中で、子どもと関わる仕事に就きたいと思い、保育教諭を目指すようになりました!

保育教諭のやりがいは?

活動に楽しく取り組んでいる子どもたちの姿を見た時です。活動の最後に「またやりたい」と言ってもらえたときが一番やりがいを感じます。

リフレッシュ方法は?

美味しいものをいっぱい食べていっぱい寝ることです!

読書と野外音楽フェスや好きなアーティストのライブに行くことです!

みんなリフレッシュしながら、お仕事、頑張っているんですね。素晴らしい!どのお仕事も楽しいだけではないけれど、日々、子どもたちの成長を感じながら、様々な驚きと発見を楽しめる保育教諭のお仕事は本当に魅力いっぱいです。



みんな知ってた!?
友渚児童センターの豆知識

魅力は
まだまだいっぱい!

Q1. 友渚児童センターには海の生き物の壁画や人形がたくさん飾られているのはなぜでしょうか?

A. 友渚児童センターは海をテーマに建設された園です。「カニがおにぎり持っているよ!」「ジンベイザメが泳いでる」等、子どもたちの嬉しい声が聞こえます。



Q2. 園庭の総合遊具の後ろの木は何の木でしょうか?

A. 柿の木です。昨年度、干し柿づくりに挑戦!作る工程を楽しみながら、いつか食べ頃かな…と待ち遠しそうな子どもたち。出来上がったシワシワの柿に戸惑う子もいましたが食べてみると「あま〜い♡」と嬉しそうでした!今年も収穫できるかな?楽しみです。



こんなに
収穫できました!

「ありがとう」「おはよう」は魔法の合言葉

掃除をしてきている先生に、製作物の準備をしてくれる先生に、運びものをしてくれた先生に、ごく自然に、『ありがとう』の声。だから子どもたち同士も「ありがとう」と言い合ったり、ベこりと頭を下げたり・・・毎週水曜日の「シーズン体操」では、事務所のマイクから大きな声で「おはようございます～」の声。体操の後は少し恥ずかしそうに自己紹介☆



おはようございます

ありがとう



都島乳児保育センターの職員は、様々な年齢、出身地や保育の経験年数、経歴も本当にさまざま。もちろん性格や個性も十人十色。いろんな個性を持つ人がチームとなつて働くから力が倍増する。それぞれの持ち味や強みを引き出し、伸ばすことで、子どもたちをイキイキと育むいい保育が出来る・・・個性にあふれたメンバーが互いに育み合つてできるチーム力、それは私たちがちよつと自慢できる不思議な魔法の力、です。

信頼と支え合いの魔法



幅広い世代の職員がいるから、多くの経験を持つ先生に相談すると心が軽～くなり、またがんばろー！一人では解決できそうにないことも誰かに聞けば、必ずステキなアドバイスが返ってくる。先輩・後輩、正規・非正規なんて関係ない！『みんなで見守り、みんなで作り上げる“支え合いの保育”』が大好き。

ステキな (魔法) 都島マジック!!

それは不思議な魔法の力!

特技編



手づくりの魔法

玄関から迎えてくれるアンパンマンファミリーやたくさんのキャラクターたち。すべて職員手作りの仲間たち。ひと針ひと針に子どもたちの喜ぶ顔を思い浮かべ、どんどん難易度は高くなる～



音楽の魔法

ピアノはもちろん、サクソ、カリンバ、グロッケンなど楽器演奏が得意な先生が多く♪にゅーじー劇団♪を結成し、子どもたちにお披露目もー。
楽器の違いによる音の調整が難しい時は「ピアニスト先生」の登場！変調から編曲、独自の伴奏付けまでこなして壮大な名曲の完成♪初めて聴く楽器の音色に魅かれウトウト・・・Zzz
職員ひとり一人が学生時代から頑張っていたことを、こうして出会った仲間と再開できる職場がうれしい。



子どもたちが、都島の老舗寿司店「すし中」さんの前に流れる川に泳ぐ魚たちを眺めていると・・・「中にもいるよ～」と大将の喜色満面のお誘いがー。大きな生けすにたくさんの魚がス～イスイ。子どもたちの目も魚に合わせてキョ～ロキョロ。「大将！ここを【都島の水族館】と呼ばせてください！」ステキなお店のある、ステキな地域、都島って暖かくてやさしくて、いいよね～

あははははは

一体感がつくる笑顔の魔法



行事やイベントは、準備で、保護者の方からも「大変そ～」のお声も・・・でも目的に向かって時間を共に共有することで一体感は何にも代えがたい貴重な体験。時に意見を出し合い、時に涙が出るくらい大笑いしながらの準備。「みんなが楽しく！！」が合言葉。



法人創立 90 周年
渡久地理事長叙勲のお祝いと
感謝の集いのプログラムの絵
を描きました

どうしてこの
組み合わせに
したの？



法人象徴の『ひまわり』・沖縄由来の園として『シーサー』・お祝い事として『色鮮やか』の3つを基盤にして試行錯誤しました。S先生にも相談したり、お互いに見せ合って方向性を揃えました。まさか、この絵が採用されるなんて…びっくり！です。でも、嬉しいです♡



何をイメージ
して描いたの？



幼保連携型認定こども園育成児童センターの園舎内階段に描かれている絵をイメージして、自分だったら『こんな絵があれば楽しいな』『絵の向こう側に友だち（相手）がいたらこんな表情をするんだろうな』などをイメージして描きました。



児童館の新施設の外壁壁面を描きました

都島第二乳児保育センターは今年で設立50周年を迎えます。そこで、保育園のイメージキャラクターを2人で思案中。ホームページなどで紹介していくので、お楽しみに♪



?

へえ～ そんなものなの？

なのでリフレッシュになる
こともあります！

都島第二乳児保育センターの職員はそれぞれの特技を活かし、日々の保育を展開しています。そんな中、今回は絵を描くことが大好きな2人の保育士をご紹介します。お絵描きは子どもたちにとって、創造力や発想力を育む・色彩感覚を養える、小さな乳児にとっても手先の感覚が養われ器用に動かせるようになるなど、本当に良いことがいっぱいです。

好きなこと、得意なことは、人をイキイキさせる。そして『&』の輪を広げる。



描いているときは集中してゾーンに入るんです

だから集中が切れた時はスッキリします

今回の挿絵は全て2人の職員が描いてくれました。様々なタッチで描ける才能は本当に素晴らしく、自慢の保育士です！



達成感はどうな時に感じる？

イメージ通りの色が出せたとき。絵の具で塗ることが多いのですが、知らず知らず立体的な色合いになると「よしっ！」と思う。後は、子どもも保護者・職員が喜んでくれて、声をかけてくれることが嬉しいし「やって良かった」と思います。



これは絵本「ミッケ」をイメージして飾り付けました



抽象的なイメージの依頼が多い中、どうやって形にしていけるの？

依頼者がイメージしている雰囲気とか絵のタッチを聴いて自分なりにイメージしています。

描きだすとよりイメージが鮮明になると、お互いに見せ合ってイメージを合わせています。どうしてもイメージがわからないときは、インターネットから刺激を受けることもあります。

私たちの
ちよこつと自慢♪は、
「先生、大好きい〜！」
っていられる先生たち！
渡保育園・松島保育園

松島保育園在園時の
山下先生

“子どもたちみんなが笑顔になる保育”を目指して、日々、子どもたちのにぎやかな声が響く松島保育園。お部屋からモノレールが見えて、子どもたちが「いってらっしゃい！」と手を振る姿は私たち職員も思わず微笑んでしまう愛らしい光景です。

園庭や屋上でいっぱい遊びながら、リトミック、体育指導、製作、お勉強会などなど、子どもたちの好奇心や感性を刺激する色々なことにチャレンジしています！

そんな松島保育園の先生たちも子どもたちに負けず劣らず、いつも元気いっぱい！！今回は素敵な先生たちの中から2名をピックアップしてご紹介します！！

MATSUSHIMA



色々な経験や感動が保育の現場でも活かせると思っています。子どもたちにも楽しいことをいっぱい伝えたいです。

4歳から琉球舞踊を習い、結婚式の余興から大きな舞台と、幼い頃から数多くの舞台に出演。琉球古典芸能コンクールで新人優秀最高賞を受賞。令和元年に教師免許を取得。

比嘉 結さん



子どもたちとも
真剣に向き合ってます

おちゃめ！

琉球舞踏は
お手の物

山下 詩織さん

先生はなんと
松島保育園の卒園児！！



中学生の頃から憧れていた保育士になることができ、毎日元気いっぱいの子供たちと楽しく過ごしています！

与那嶺 翔子さん

松島保育園の
ムードメーカー！！



お誕生会はいつも翔子先生がお友だちを連れてきてくれます(笑)この時はスパイダーマンがきてくれました！

鬼むーちーで有名な「大アカギ」や石畳道など、古都首里の面影を今日に伝える恵まれた環境のなかにある渡保育園。だからこそ運動会ではエイサーや旗頭、獅子舞、発表会では琉舞や和太鼓など、沖縄の伝統文化を大切に、日々の保育や食育を行っています！
ただ私たちの自慢は文化薫り高き環境だけではありません。子ども大好き！思いやりやさしさ溢れた保育士の中から、今回は琉球舞踊の名手やショーダンサー出身の個性豊かな二人の職員を紹介します！

WATARU

琉球の伝統文化、
沖縄のエンターテインメントの
名手の手ほどきでー。

渡保育園と松島保育園が毎月2回行っている『琉舞太鼓』。両園の年長児が運動会や発表会でお披露目する沖縄伝統の多くの演目はこの琉舞太鼓での活動で培われています。その講師として来ていただいているのが知花小百合先生。知花先生は沖縄を代表する琉球古典芸能家で琉球舞踊・沖縄芝居・現代演劇など、様々な舞台に出演、振り付け師、演舞指導者としても大活躍の方です。

私たちは長年に亘って、知花先生から子どもたちにエイサーを始め、太鼓・琉舞・方言劇等の指導や振り付けを教わっています。また指導の傍ら、沖縄の歌「童神～天の子守歌～」で有名な古謝美佐子氏をはじめ、多くの歌手や舞踊家を両園に招いていただき、子どもたちが沖縄の文化やエンターテインメントに触れる機会を設けてもらっています。



練習の成果をお披露目！



琉球古典芸能家
知花 小百合先生

(実績)

1996年 第31回琉球古典芸能コンクール舞踊部門最高賞受賞

2013年 沖縄タイムス社主催「沖縄タイムス賞・演劇部門・奨励賞受賞

人物編

MIYATOMO

ワンダーランド

三宅 萌さん

子どもたちへの
ダンス指導も本格的！？



カワイイ！

ショーダンサー時代の
三宅先生

迫力の琉球舞踏に
子どもたちの目も釘付け！！



琉球古典芸能家
知花 小百合先生

(実績)

1996年 第31回琉球古典芸能コンクール舞踊部門最高賞受賞

2013年 沖縄タイムス社主催「沖縄タイムス賞・演劇部門・奨励賞受賞

心に響け！さくら愛

～みんなちがってみんないい～

私たちの自慢は園の職員全員です。
みんなの力が合わさると1+1=2以上になります。
ほんの一部ですが紹介したいと思います。

すいれん組 辻田



優しい声かけ、温かいまなざし、とても大切なことです。言われた子どもも、聞いている周りも心地よく感じるような関わりは誰もが手本にしたいです。

ちゅうりっぷ組 吉村



全力で鬼ごっこ、頭からびしょ濡れで水あそび、子どもたちはとても満たされます。子どもと思いきり遊ぶという姿が保育士としてスバラシイ！

さくら組 西村



自己PRは掃除が得意！園内の片付けや掃除をただ行うだけでなく、要領よく、片付けやすく、さらに率先して行う姿勢も学ぶべきところ。園内の全ての収納のアドバイザーです。

なでしこ組 水野



音楽が得意。歌、楽器オールマイティーですが、子どもと歌う時に自然と強弱をつけて歌っているところが、心地よく聞こえます。

ひまわり組 大坪



4月に異動してきたところで不安だろうけれど、いつも笑顔で周囲の職員に話しかけ、前向きで一生懸命な気持ち伝わります。

さくら組 塩中



絵が得意。子どもと一緒に絵かきをして楽しい時間を共有しています。職員の揃いのシャツのイラストを担当しました。

もも組 杉本



赤ちゃんに与える安心感!! 新入園児もたちまち泣き止み、安心して食べたり眠ったりできます。

なでしこ組 本田



とにかく素直で一生懸命。楽しい時、うれしい時は同僚と分かち合い、うまくいかなかった時は次に向かって振り返り。子どもに伝えたい姿です。

それぞれに得意なこと、良いところがあり、支え合い助け合い、互いを認め合って、子どものため、よりよい保育のため、という共通の目的に向かっていきます。その姿勢が職員集団作りにつながるのですが、それは子どもたちにも伝わり、いろんな友だちがいて一緒に過ごす大切な仲間だ、ということを感じられるような手本になりたいと思います。

5月の園庭より
※目を合わせて鯉のぼりをあげる楽しさを共感する姿
※花壇はピオラとスノーボールが満開
菜園と同じくらい近隣の方が足を止めてくださいます

桜宮児童センター

幼保連携型
認定こども園

人物編

MIYATOMO

ワンダーランド

1歳児異年齢交流



5歳児プログラミング活動

「できた！」の表情を待つ瞬間にシャッターを押しました



2歳児寒天遊び

三人が楽しそうに会話をし始めたのでカメラを向けました



0歳児パラバルーン



キラキラのベストショットを見逃さない!

私たちは、
成育の名カメラマン

コロナ禍に入り普段の様子を保護者や地域の方に知っていただく手段のひとつとしてホームページの写真や動画作成の充実を図りはじめたのをきっかけに、コロナ以前に比べ職員がカメラを持って子どもたちを撮影する機会も増えました。専門的な技術はありませんが、私たちだからこそ引き出せる子どもたち一人ひとりのステキな表情や笑顔があると自負しています。これからも子どもたちのキラキラした姿を「ベストショット」に収めていきます。



4歳児自由遊び

入賞 第7回 大阪保育文化賞
フォトコンテスト
「手と手でシアワセ」

コロナ禍でマスク着用時に子どもたちにどのように表情や気持ちを伝えればよいのか悩むことが多かった三年間。マスクをしていても肌と肌が触れ合うことで表情や気持ちが伝わり手と手を合わせて二人がにっこり笑顔になった瞬間でした。

幼保連携型
認定こども園

成育児童センター





研修は親睦や交流の場

雨の日はポンチョで



わはっはっ

たまには談笑

コロナ禍ということもあり、これまで全然実現できませんでした。今年2月、オープンして初めて全員で食事を催しました。ここでは無礼講、楽しい時間でした。ちょっと自慢を書き添えておきます。初めての食事会、管理者がポケットマネーでその支払いをしたということ。最後に伝えておきます。失礼いたしました。

訪問介護は仕事先が利用者宅になっているため、普段から全員が集まるという機会がありません。ですから月に一度、全員が集まって職員研修を行っています。勉強するのも大事なのですが、せっかくの機会、コミュニケーションを何より大切にしています。研修の時には軽食を用意。みんなでワイワイガヤガヤ、雑談もあり、です。美味しい食べ物があれば会話も弾みます。たわいもないこと、普段感じている仕事の悩み、プライベート…。たわいもない雑談や普段の会話の中で、訪問介護で役立つさまざまなアイデアも出てきます。例えば自転車の後ろのかご（買い物の量が多かった時に役立つ）や雨対策の自転車のポンチョとサンバイザー（自転車に乗りながら傘をさすのは危険です）、暑い日のネッククーラー（夏の自転車移動はほんと大変なんです。熱中症になりそうなんです）等、なるほどと納得、現場の意見を取り入れて実際に反映しました。このような積み重ねが働きやすい職場作りになっていると思っています。

外国人スタッフの皆さん

それぞれの文化や習慣、個性を尊重し、みんなが働きやすい環境を実現

ひまわりの郷には大勢の外国人スタッフが働いています。国籍は様々、中国・ベトナム・韓国・ミャンマー・ブラジル・フィリピン etc. 外国の方にとって日本語は話せても書く事はなかなか難しいようです。そのため業務マニュアルをそれぞれ出身地の言語に翻訳、研修を行っています。また日本語は全てフリガナをふり、分かりやすいようにしています。業務の間には日本語の勉強会を開いて、文章の添削をしたり、関西弁も覚えてもらうようにしています。外国人スタッフの方は礼儀正しく、その生活態度や仕事ぶりには、私たち日本人スタッフのほうが学んだり、刺激を受けることも少なくありません。中には、こまやかな心配りで栄養ドリンクや飴を配って下さる方もおり、まるで大阪のおばちゃんのような優しさを感じています。



私はチャン・テイ・フォンです

今年の1月からひまわりの郷で働いています。4月からは正社員になり、先輩方から、日々、介護技術や業務を学んでいます。趣味は、料理です。特に、ベトナム料理の春巻きや、「フォー」という日本でいうラーメンが得意です。入居者さんとお話することが楽しく、毎日たくさんの方とお話をしています。これからもよろしくお祈りします。

3 凸凹コンビはひまわりの名プレイヤー
ひまわりで働く二人の介護スタッフ。この二人の身長差はなんと約30cm！利用者の皆さまから愛される名物凸凹コンビで、二人がチームを組むと、まさに阿吽（あうん）の呼吸！ひまわりのスタッフは、それぞれの個性や経験、能力を生かして日々奮闘しています。

2 ボランティアの方に支えられて
職員と共に、ひまわりを支えてくださっているのはボランティアの方々。利用者の皆さまが楽しみにされている音楽会やダンスなどイベント、日々の洗濯、散髪、等々、様々な場面でお力をいただき、大変助かっています。中にはスタッフのお母様も参加していただいている…。地域やスタッフの家族からも、もっともっと愛されるひまわりを目指します。

1 プチ自慢
友測地域在宅サービスステーションひまわり
送迎サービスは地域から信頼される大切な一環。現在、利用者の送迎をお願いしているドライバーは2名おられます。そのうち1名は元警察官。もう1名は元自動車学校の教官。まさに鬼に金棒、安心安全間違いなしです！「利用者やご家族の方が安心していただけるように」「これまでの経験を少しでも活かしてお役に立ちたい！」そんな想いで働いていただいています。



ドライバーのお二



凸凹コンビ



ボランティアの皆さん



令和4年度研修報告

本部事務局長 寄瀬 博光



キャリアアップ研修



アウトリーチ型研修



法人内研修
(看護師研究会)

【児童施設】

質の高い教育・保育を目指して

児童施設や高齢者施設におけるサービスが年々多様化し、支援のあり方も複雑になってきました。こうした状況に対応して、都島友の会では研修センターとともに各施設で、職員の資質や技能向上のため、毎年、研修計画たて様々な研修を実施しています。令和4年度の研修内容について報告します。

比嘉正子地域貢献事業研修センターの研修

法人職員の研修施設として、平成25年9月に研修センターを開設しました。研修センターでは、センター研修室だけでなく、各施設でも研修を実施しています。

■アウトリーチ型研修

保健衛生の分野では、法人の看護師チームが講師となり、各児童施設で全職員を対象に、ケガや誤飲の対応、SIDS、熱性けいれん、アレルギー、心肺蘇生などについての研修を実施。研修センターでは、専門講師により、管理職・リーダーを対象に職員の意識改革と人材育成、また新人職員3年目を対象に保育実践などの講義を実施。延べ465人が受講し、自らの資質向上に向けた取組みを学びました。

■保育士等キャリアアップ研修

子どもや子育てを取巻く環境が変化し、保育教諭・保育士にはより高度な専門性が求められています。スキル向上のため、研修センターでは、大阪府の指定を受け、平成30年度から保育士等キャリアアップ研修を実施しています。

協議会、日本保育協会大阪支部、日本保育保健協議会など関係団体が主催する研修に、職員を参加させるとともに、他の法人職員との交流を深めています。

大阪府社会福祉協議会保育部会が実施する地域貢献支援員（スマイルサポーター）養成研修には、毎年、各園から職員を参加させた結果、すべての園にスマイルサポーターが配置されています。

【高齢者施設】

利用者に安全・安心の暮らしを提供

特別養護老人ホームひまわりの郷は、常時介護を必要とし、かつ自宅で介護を受けることが困難な高齢者90名が生活されています。

入居者の令和4年度の平均年齢は88・7歳、平均介護度は4・16で、年々高くなっています。

利用者の皆さんに、日々の「安心・安全の暮らし」を提供していくため、介護職員のスキルアップに努めています。ひまわりの郷では事故防止・入浴・給食・設備衛生・腰痛予防・防災・看取り介護など11の検討委員会、また褥瘡（じゆくそう）・感染症・喀痰吸引等安全・虐待防止・ヒヤリハットなど8の対策委員会を中心に、内部研修を実施し、職員の知識と技術の向上を図っています。

法人内研修 — 施設での研修

施設では各委員会が担当となり、デイサービスひまわりの職員を含む高齢者施設的全職員を対象に、内部研修を実施しました。研修項目は新型コロナウイルス予防対策と対処方法、ノロウィルスの対応、摂食・嚥下障害の方の食事介助、拘縮の方のオ

平成4年度もコロナ禍ではありましたが、乳児保育・幼児保育・障がい児保育・食育・保健衛生・保護者支援及び子育て支援・マネジメントの7分野（1分野15時間）に、充実した講師陣をお迎えして開催。5年目となった令和4年度の研修受講者は、法人職員（100名）だけでなく、外部（62名）からも受講され、分野ごとに計154名が修了されました。

法人内研修 — 各施設での研修

コロナ禍での採用ということもあり、児童施設では特に新人職員研修を充実しました。各施設では、看護師が中心となり新型コロナウイルス感染症について勉強会を重ね、対策を講じたところで。

保健衛生研修として、アレルギー、エビペンの取扱、AED・心肺蘇生、ケガの応急措置、嘔吐処理、熱中症、熱性けいれんなどについて学ぶとともに、実践・グループ討論を通して理解を深めました。

実技研修では、外部講師が保育士に体育活動での補助方法を指導。また施設のリーダー職員が講師となり、合奏法などの音楽研修、描き方など絵画研修が実施されました。

危機管理として、東日本震災のDVDを視聴し、災害時に保育士が取るべき行動について共に考えました。その他、事故防止の研修や不法侵入者の対処法などについて、都島警察署防犯研修をお願いしました。

各施設では、自園の保育の質の向上に、令和5年度も研修の充実に努めています。

外部研修の受講

都島友の会では、法人内研修のほか、研修テーマに応じて、大阪府社会福祉協議会保育部会、全国社会福祉法人経営者ムツ交換、ヒヤリハットから未然防止策の検討、終末期における家族と介護者のケア、入浴時のプライバシー、排せつ介助、不適切なケアとは、褥瘡防止など25項目にわたり、課題解決と自立した職員の育成に努めたところです。

外部研修の受講

令和4年度は、コロナ禍でオンラインなどの研修となりましたが、職種に応じて、大阪市老人福祉施設連盟が主催する認知症ケアなど、外部の研修にも参加し、施設内業務に繋がっています。

■介護職員初任者研修 — 人材確保

ひまわりの郷では、介護職員の自前養成として、令和4年度に介護職員初任者研修を開講しました。6名が修了し、内1名が正規職員としてひまわりの郷に採用。5名は、非常勤職員として勤務しています。

令和5年度は、施設職員の社会福祉士資格取得を促進するため、実務者研修を開催することとしています。



介護職員初任者研修

自慢のメニューもプラスして

カフェテリアひまわり、 リオープン再開しています



カフェテリアひまわりがオープンして4年が経ちました。

コロナ前は子育て中のママさん親子で、週2回提供している日替わりランチを食べに来てくれたり、夏は小さなプールを出して子どもたちが水あそびをしたりとにぎやかな雰囲気でした。

コロナ禍のため、長く休業せざるを得ませんでしたが、ようやく5月8日より再オープン。地域の方々も「頑張ってるかー!？」と覗いてくださったり、「待ってたでー」とも応援の声が身に染みる想いです。

以前に比べてメニュー増やして飽きがこないように、季節ごとの限定メニューを模索中です。夏は「昔懐かしのクリームソーダ・ミックスジュース・コーヒーフロート・冷やしうどん・サラダボール」を提供しています。秋から冬にかけては、きつねうどんやラーメンに、焼きおにぎりを付けた「まぶくセット」をお出しする予定です。

老若男女問わず気軽に過ごせるカフェです。みなさん一度フラくつとをあとそばに来てください。9時30分～16時の営業です。土日祝プラス施設行事がある時は定休日です。



今号の表紙



都島第二乳児保育センターの職員、広沢さんと杉原さんが当法人のシンボルであるひまわりとシーサー、都島児童館の子どもたちをモチーフに作画してくれました。

編集後記

今回のゆんたくは、『M-Y-A-T-O-M-O-W-N-D-A-R-L-A-N-D』と称して、当法人各園各施設の「ちょっと自慢」が散りばめられています。それぞれの個性や特技を活かして頑張っている職員や各施設の特徴がほんの少し紹介できたかな、と思っています。

新型コロナウイルスが「5類感染症」に移行され、今までの日常を取り戻しつつある昨今、当園でも3年ぶりに通常の園風景が戻りはじめアフターコロナにおける教育・保育内容や行事のあり方について職員間で話し合いを進めています。

今まで「当たり前」だったことを失った3年間…でも「当たり前の幸せ」に気付くこともできました。毎日の中での二つひとつの「シアワセ」を大切に歩いていきたいです。

これからもこれまでと変わらず、私たちは利用者の方の目線で親切・丁寧を心掛けた教育・保育・介護に取り組んでいきたいと思えます。

成育児童センター 錦城 栄旭